



にしきの つうしん  
**錦乃通信**

Mamiya J.H.S School News

令和8年4月8日(水)

さいたま市立馬宮中学校

令和8年度 第1号

学校教育目標

未来を拓け ~自己の創造・生きる自信~

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ~Self Creation ・ Confidence to live~

## 「新たな門出」

校長 衛藤伸介

校庭の桜や草花の息吹とともに、新年度が穏やかに、そして確かな力をもって始まりました。私は、昨年度に引き続き本校で勤務させていただくこととなりました、本校校長の衛藤伸介でございます。どうぞよろしくお願いいたします。春は、出会いと別れの季節です。これまでの日々を振り返りながら歩んできた道に一つの区切りをつけ、新たな人、新たな場所、新たな目標と出会い、次の一步を踏み出す大切な節目の時期でもあります。

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。新しい制服に身を包み、期待と緊張が入り混じった表情で校門をくぐる姿は、とても初々しく、この学校に新しい風を吹き込んでくれています。中学校生活の三年間は、心や体が大きく成長する時期です。仲間と出会い、学び、悩み、挑戦する中で、自分自身と向き合う貴重な時間となることでしょう。

在校生の皆さん、進級おめでとうございます。一学年上がったことで、皆さん一人ひとりの役割や責任も広がります。先輩として、また学校の中心となる存在として、これまで以上に自分の行動や言葉に自覚をもち、後輩や仲間を支える存在へと成長してくれることを期待しています。

この春、本校を巣立っていった卒業生の皆さんとの別れは、私たちにとって大きな寂しさがありましたが、それ以上に、三年間の成長を誇りに思い、それぞれの新しい場所での活躍を心から応援したいという気持ちでいっぱいです。別れは終わりではなく、新たな道への出発であり、その背中を励ましと感謝の気持ちで送り出したいと思えます。

また4月は、新入生を迎えるとともに、本校に新たに着任した教職員を迎える月でもあります。さまざまな経験や専門性をもった教職員が加わることで、学校には新たな視点や活力がもたらされます。生徒の皆さんにとっても、多くの大人と関わり、多様な考え方に触れることは、大きな学びにつながっていくはずで、新しい仲間との出会いを大切にしながら、よりよい学校づくりを進めてまいります。

さて、本校の学校目標は「未来を拓け 自己の創造 生きる自信」です。出会いと別れを経験する中でも、自分自身を見つめ直し、新たな自分を築いていくことが「自己の創造」につながります。失敗を恐れず挑戦し、周囲と関わりながら学び続けることが、やがて「生きる自信」となり、自分の未来を自ら拓く力となっていきます。

学校生活は、決して順調なことばかりではないかもしれません。つまづいたり、迷ったりすることもあるでしょう。しかし、そうした経験があるからこそ、人の気持ちを考える力が育ち、困難に立ち向かう強さが身に付きます。生徒達には、仲間や教職員とのつながりを大切にしながら、一日一日を丁寧に積み重ねてほしいと思えます。

教職員一同、生徒一人一人が安心して学び、自分らしさを発揮できる学校づくりに、心をつなげて取り組んでまいります。新入生、在校生、そして新たに加わった教職員が共に学び、共に成長するこの一年が、実り多いものとなるよう、日々の教育活動を大切にしていきたいです。

本年度が、本校に関わるすべての人にとって、希望に満ちた「新たな門出」となることを心から願っています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本校の教育活動に対し、引き続き温かい御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。